年間授業計画

保谷　高等学校 令和６年度（1学年用） 教科　　国語　　科目 論理国語

教　科：　国語　　科　目：　論理国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　　1 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 論理国語　三省堂　　）

教科　国語　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　論理国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元　言葉のはたらきを理解する 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●筒井大三郎「言葉は平等な内面を作り出す」 ●指導事項 ・接続語 ・指示語 ・筆者の主張を読み取る			○	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。(1)ア 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。(1)ウ （評価方法） 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 B(1)ア 「書くこと」において書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理しながら文章を書いている。A(1)ア （評価方法） 定期考査、振り返りシート	○	○	○	3
	B 単元　要点をつかむ 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理しながら文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●教材 ・辻大輔「若者に友達プレッシャー」 ・平野啓一郎「自分を捉え直す」 ●指導事項 ・要約		○		【主体性に学習に取り組む態度】 論点を理解する学習に取り組む中で、言葉のはたらきについての筆者の主張を捉え、それに対する自分の考えを持とうとしている。 　文章を要約する活動に取り組む中で、文章の要点の捉え方や情報の整理の仕方を理解しようとしている。 （評価方法） グループワーク 意見交換	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 単元　批判的に検討する 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●教材 ・船間浩明「一人で爆笑」 ・「カタカナ語は享受すべきか」 ●指導事項 ・論拠を捉える ・資料を批判的に読む			○	【知識・技能】 推論の仕方について理解を深めている。(2)ウ （評価方法） 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、　主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 B(1)ウ 「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張との違に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直している。A(1)カ （評価方法） 定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 情報を批判的に検討しながら文章を読む学習に取り組む中で、情報を読むとら際の多角的な視点を獲得しようとしている。 　文章を書く活動に取り組む中で、文章の構成や展開を推敲しながら、読み手により正確に伝わる文章を書こうとしている。 （評価方法） グループワーク 意見交換	○	○	○	9
	D 単元　的確に伝える 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直す。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●教材 ・「文章をリフォームする」 ●指導事項 ・文章の構成・展開		○		定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 情報を批判的に検討しながら文章を読む学習に取り組む中で、情報を読むとら際の多角的な視点を獲得しようとしている。 　文章を書く活動に取り組む中で、文章の構成や展開を推敲しながら、読み手により正確に伝わる文章を書こうとしている。 （評価方法） グループワーク 意見交換	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
2学期	E 単元　事例の意味を探る 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●教材 ・「多様な視点から考える」 ・「女性／男性だから〇〇」 ・「意見を書こう」 ●指導事項 ・主張の前提を捉える ・多様な視点からテーマについて考える		○	○	【知識・技能】 　主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア （評価方法） 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、　人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 B(1)カ （評価方法） 定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 正解のない問いについての筆者の主張とそれを支える根拠を捉える学習に取り組む中で、様々な立場を想定しながらテーマについて自分の考えを深めようとしている。 （評価方法） グループワーク 意見交換	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	F 単元　説得力のある文章について理解する 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構成や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●教材 ・「落語の中の経済学」 ・「ホンモノのおカネの作り方」 ・「レポートを書く」 ●指導事項 ・根拠の妥当性を吟味する ・説得力のある文章を書く		○	○	【知識・技能】 　文章の種類に基づく効果的な段落の構成や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ （評価方法） 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章構成や展開を工夫している。 A(1)ウ （評価方法） 定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 正解のない問いについての筆者の主張とそれを支える根拠を捉える学習に取り組む中で、様々な立場を想定しながらテーマについて自分の考えを深めようとしている。 （評価方法） グループワーク 意見交換	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3学期	G 単元　隠れた前提を探す 【知識及び技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	●教材 ・「情報を分析する」 ・「なぜ私たちは労働するのか」 ・「『すべり台社会』と“溜め”」 ●指導事項 ・情報を整理し、分析する			○	【知識・技能】 　情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。(2)イ （評価方法） 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 B(1)ウ （評価方法） 定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 正解のない問いについての筆者の主張とそれを支える根拠を捉える学習に取り組む中で、様々な立場を想定しながらテーマについて自分の考えを深めようとしている。 （評価方法） グループワーク 意見交換	○	○	○	17

年間授業計画

保谷　高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　　国語　　科目 古典基礎

教　科：　国語　　科　目：　古典基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　3 組～　8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 古探７２１/７２２　桐原書店「探求　古典探究」　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元：説話 【知識及び技能】 比較的平易な説話を読んで、話のおもしろさを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 説話の特質を踏まえて、文学への興味や関心を持たせる。	教材：「歌詠みて罪を許さること」宇治拾遺物語 指導事項 ・本文の読解 ・古文単語 ・文法事項（用言の活用、助動詞、助詞、敬語）			○	【知識・技能】 語句の意味や用法に加え、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)ア・エ 〈評価方法〉 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 「読むこと」について、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(1)オ 〈評価方法〉 定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 古典の作品や文章を多多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げ、深めようとしている。 〈評価方法〉 グループワーク 意見交換	○	○	○	4
	単元：歌物語 【知識及び技能】 物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語における和歌の役割を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に込められた登場人物や作者の心情を踏まえて、自分の考えと比較させる。	教材：「姨捨」大和物語 指導事項 ・本文の読解 ・和歌の解釈 ・古文単語 ・文法事項（係り結びの法則、助動詞の識別）			○		○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	単元：日記 【知識及び技能】 日記を読み、登場人物の行動や心理を的確に把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日記を読み、記された事柄や作者のものの見方・感じ方を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 回想日記の特質を踏まえて、平安時代の文学への興味、関心を持たせる。	教材：「門出」「物語」更級日記 「嘆きつつひとり寝る夜」 蜻蛉日記 指導事項 ・本文の読解 ・古文単語 ・文法事項（助動詞の識別）			○		○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
2学期	単元：歴史と軍記 【知識及び技能】 登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「平家物語」について論じた現代の文章を読んで、「平家物語」の描写の特徴について考察させる。	教材：「雲林院の菩提講」 「道長と伊周の競射」大鏡 「宇治川の先陣」平家物語 「平家物語」小林秀雄 指導事項 ・本文の読解 ・古文単語 ・文法事項（呼応の副詞、敬語）		○	○	【知識・技能】 語句の意味や用法を理解し、古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 (1)ア・イ 文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 （2）イ 〈評価方法〉 定期考査、小テスト 【知識・技能】 語句の意味や用法を理解し、古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 (1)ア・イ 文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 （2）イ 〈評価方法〉 定期考査、小テスト 【思考・判断・表現】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 (1)イ・ウ 〈評価方法〉 定期考査、振り返りシート 【主体性に学習に取り組む態度】 先人のものの見方や考え方に親しみ、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。 〈評価方法〉 グループワーク 意見交換、作文	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	単元：物語 【知識及び技能】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成に関心を持ち、物語文学への理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 長編文学の特質を踏まえて、文学への興味や関心を持たせる。	教材：「光源氏の誕生」 「光源氏と藤壺」源氏物語 指導事項 ・本文読解 ・品詞分解 ・古文単語 ・古典文法（助詞の識別、敬語）			○		○	○	○	10
	単元：故事 【知識及び技能】 比較的短い文章を読み、話の内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 古代中国人のものの見方・考え方について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文のリズム、語感などを感じさせる。	教材：「画竜点睛」 指導事項 ・本文読解 ・句法			○		○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
3学期	単元：史伝 【知識及び技能】 歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝を読んで、その魅力を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの主人公の人物像を把握するとともに、同時代に生きた人物について考察を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文のリズム、語感などを感じさせる。	教材：「赤壁の戦い」 「背水の陣」 「四面楚歌」史記 指導事項 ・本文読解 ・中国史について ・句形			○	【知識・技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 （2）イ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深め ている。(1)ア・エ 【主体性に学習に取り組む態度】 古典の作品や文章を読み、その内容に関して興味をもったことや疑問に感じたことについて、自分の考えをまとめようとしている。 〈評価方法〉 グループワーク 意見交換、作文	○	○	○	12
	単元：思想 【知識及び技能】 中国の思想の概要と諸子百家における位置づけを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの思想が現代においてどのような意義を持つかを考察し、理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 中国の思想からどのような影響を受けたかを考察させる。	教材：「論語」 指導事項 ・本文読解 ・句形 ・中国の思想について			○		○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
									合計	70

年間授業計画
課番　高等学校　令和６年度（2学年用）　教科　地歴　科目　日本史探究

教　科：地歴　　科　目：日本史探究　　単位数：　単位

対象学年組：第　2　学年　1　組～　8　組

教科担当者：

使用教科書：（『詳説日本史』（山川出版社）　）

教科　地歴　の目標：

【知識及び技能】日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力

【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力

【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

科目　日本史探究　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史に関わる事象の意味や意義、伝統や文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのとつながりに着目しながら多面的・多角的に考察し、自らの考えを他者に表現し、議論する力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、自国に対する愛情や他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元：日本文化のあけぼの 【知識及び技能】 ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解する。 ・水稲耕作・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現する。 ・小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を理解する。 ・日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察する。	【指導事項】 ①文化の始まり ②農耕社会の成立 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・実物教材(金印・黒曜石など) ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識及・技能】 ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 ・水稲耕作・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、出土品から得られる情報を収集して読み取る技能が身についている。 【思考・判断・表現】 ・考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を理解している。 ・日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察できる。	○	○	○	6
	単元：古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 ・国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解する。 ・推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとする。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究する態度を養う。	【指導事項】 ①古墳文化の展開 ②飛鳥の朝廷 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。また、推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出している。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究している。	○	○	○	15
	定期考査		【知識・技能】 旧石器時代～古墳時代までの基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料から必要な情報を抜き出して考察を行い、それを表現している。	○	○		1
	単元：律令国家の形成 【知識及び技能】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解する。 ・遣使による中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解する。 ・東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・律令体制整備の過程について考察する。 ・文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と土地制度の変容を関連づけて考察する。 ・盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現する。 ・蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとする。 ・平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究する。 ・隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとする。 ・東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究する。	【指導事項】 ①律令国家への道 ②平城京の時代 ③律令国家の文化 ④律令国家の変容 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 ・遣使による中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 ・東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・律令体制整備の過程について考察している。 ・文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と土地制度の変容を関連づけて考察している。 ・盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 ・蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。 ・平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究している。 ・隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。 ・東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究している。	○	○	○	16
	単元：貴族政治の展開 【知識及び技能】 ・藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、摂関政治を理解する。 ・大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解する。 ・地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における荘園の発達などについて、その特色や変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現する。 ・国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の広まりや、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察する。 ・文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとする。 ・平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとする。 ・国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を主体的に考察し、明らかにしようとする。	【指導事項】 ①摂関政治 ②国風文化 ③地方政治の展開と武士 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、摂関政治を理解している。 ・大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 ・地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 ・国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の広まりや、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察している。 ・文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。 ・平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。 ・国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を主体的に考察し、明らかにしようとしている。	○	○	○	20
	定期考査		【知識・技能】 奈良時代～平安時代までの基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料から必要な情報を抜き出して考察を行い、それを表現している。	○	○		1
2学期	単元：院政と武士の躍進 【知識及び技能】 ・貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解する。 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解する。 ・武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとする。 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとする。	【指導事項】 ①院政の始まり ②院政と平氏政権 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 【思考・判断・表現】 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。 ・武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	○	○	○	7
	単元：武家政権の成立 【知識及び技能】 ・諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解する。 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解する。 ・宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解する。 ・公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに考察する。 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察する。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究する。 ・公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究する。 ・宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究する。 ・鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究する。	【指導事項】 ①鎌倉幕府の成立 ②武士の社会 ③モンゴル襲来と幕府の衰退 ④鎌倉文化 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ・宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 ・公武関係の変化やユーラシアとの交流などに着目し、鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料から情報を収集して読み取る技能が身についている。 【思考・判断・表現】 ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに考察している。 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察している。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究している。 ・公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。 ・宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。 ・鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査		【知識・技能】 院政期～鎌倉時代までの基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料から必要な情報を抜き出して考察を行い、それを表現している。	○	○		1
	単元：武家社会の成長 【知識及び技能】 ・鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて理解する。 ・諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解する。 ・経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解する。 ・守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察する。 ・戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとする。 ・室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとする。 ・室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌+C75倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとする。 ・15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとする。	【指導事項】 ①室町幕府の成立 ②幕府の衰退と庶民の台頭 ③室町文化 ④戦国大名の登場 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて理解している。 ・諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 ・経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 ・守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・室町時代の文化の特徴と、当時の政治や経済の動向との関係を多面的・多角的に考察している。 ・戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。 ・室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。 ・15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	18
	単元：近世の幕開け 【知識及び技能】 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解する。 ・桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ・桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうする。	【指導事項】 ①織豊政権 ②桃山文化 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ・桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 ・織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ・桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	○	○	○	15
	定期考査		【知識・技能】 室町～安土桃山時代までの基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料から必要な情報を抜き出して考察を行い、それを表現している。	○	○		1
3学期	単元：幕藩体制の成立と展開 【知識及び技能】 ・織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解する。 ・幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解する。 ・諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 ・産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解する。 ・都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現する。 ・陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察する。 ・近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとする。 ・織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとする。 ・幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとする。 ・近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとする。	【指導事項】 ①幕藩体制の成立 ②幕藩社会の構造 ③幕政の安定 ④経済の発展 ⑤元禄文化 【教材として使用するもの】 ・教科書 ・図表・史料集 ・一問一答集 ・授業プリント 【そのほかの教材】 ・遺跡、文物の写真 【デジタル端末の活用】 ・ロイロノート 振り返り活動や、課題の提出、教材の明示などをする際に活用する ・そのほか調べ学習などで活用をする	【知識・技能】 ・織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 ・幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 ・諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 ・産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 ・都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。 ・陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察している。 ・近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。 ・織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを見出そうとしている。 ・幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。 ・近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	○	○	○	22
	定期考査		【知識・技能】 江戸時代の前半の基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料から必要な情報を抜き出して考察を行い、それを表現している。	○	○		1 合計 140

年間授業計画　新様式例

保谷　高等学校 令和6年度（2学年用） 教科　地理歴史　科目 世界史探究

教　科：　地理歴史　　科　目：　世界史探究　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2　学年　1　組～　8　組

教科担当者：

使用教科書：（『世界史探究』（東京書籍）　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し、地図

【思考力、判断力、表現力等】 事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度

科目　世界史探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される市民社会の一員としての自覚，我が国の歴史に対する冷静な認識，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 古代文明やキリスト教とイスラームを基盤とした国などの歴史事象について，基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明やキリスト教とイスラームを基盤とした国などの歴史事象についての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明やキリスト教とイスラームを基盤とした国などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究する態度を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 序章――世界史へのまなざし 第１編　諸地域の歴史的特質 諸地域の歴史的特質への問い 第１章　古代文明の出現 １　農業と気候 ２　古代オリエントとエーゲ海地域 ３　南アジアの古代文明 ４　東アジアにめばえた文明 第２章　西アジアと地中海周辺 １　古代オリエントの統一 ２　古代ギリシアとヘレニズム世界 ３　ローマ帝国と地中海世界 ４　古代末期の社会と地中海世界の解体 ５　地中海世界とアジア ６　イスラーム世界の成立 ７　中世初期の東西ヨーロッパ 【教材・一人一台端末の活用】 教科書，授業プリント，課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイロノートを活用	【知識・技能】 ○各地域の古代文明について，その共通点や相違点，それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。 ○西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい，どのような共通点をもっているかなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 ○古代文明の歴史的特質について，自らの学習を振り返り，学びを深め，多面的・多角的に考察し，表現する。 ○キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について，自らの学習を振り返り，学びを深め，多面的・多角的に考察し，表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明やキリスト教とイスラームを基盤とした国家などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し，その結果を適切に表現している。	○	○		1
	【知識及び技能】 南アジア，東南アジア地域，東アジアと中央ユーラシアの古代国家などについて，基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア，東南アジア地域，東アジアと中央ユーラシアの古代国家などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジア，東南アジア地域，東アジアと中央ユーラシアの古代国家などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究する態度を養う。	第３章　南アジア １　南アジアにおける国家形成 ２　インド世界の形成 第４章　東南アジア １　海の道の形成と東南アジア ２　東南アジア諸国家の再編成 第５章　東アジアと中央ユーラシア １　古代帝国の誕生 ２　中国の分裂と多様化 ３　隋唐帝国と東アジア ４　草原地帯のトルコ化とイスラーム化 【教材・一人一台端末の活用】 教科書，授業プリント，課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイロノートを活用	【知識・技能】 ○南アジアの諸宗教，国家や社会の特徴について理解する。 ○東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。 ○東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか，また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や，それによって生みだされた地域の特色について理解する。 【思考・判断・表現】 南アジア，東南アジア地域，東アジアと中央ユーラシアの古代国家などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジア，東南アジア地域，東アジアと中央ユーラシアの古代国家などについて歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究しようとしている。	○	○	○	28
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し，その結果を適切に表現している。	○	○		1
2学期	【知識及び技能】 ユーラシア大陸以外の文明，イスラーム文明圏，9世紀から15世紀にかけてのヨーロッパ世界などについて，基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ユーラシア大陸以外の文明，イスラーム文明圏，9世紀から15世紀にかけてのヨーロッパ世界などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ユーラシア大陸以外の文明，イスラーム文明圏，9世紀から15世紀にかけてのヨーロッパ世界などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究する態度を養う。	【指導事項】 第６章　アフリカ，オセアニア，古アメリカ １　アフリカ ２　オセアニア ３　古アメリカ 第２編　諸地域の交流と再編 諸地域の交流・再編への問い 第７章　イスラーム世界の拡大と繁栄 １　イスラーム世界の発展 ２　イスラーム文明 第８章　中世ヨーロッパ １　中世ヨーロッパ社会の展開 ２　中世西ヨーロッパ社会の成熟 ３　中世西ヨーロッパの文化 ４　中世ヨーロッパ社会の再編 ５　ルネサンス 【教材・一人一台端末の活用】 教科書，授業プリント，課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイロノートを活用	【知識・技能】 ○ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について，自然環境との関わりに注目しながら理解する。 ○アジア・アフリカの広大な地域が，イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。 ○9世紀から15世紀にかけて，ヨーロッパ世界ではどのような政治，経済，社会，文化の変動がおこったのか，また，それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されていったのかなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 ユーラシア大陸以外の文明，イスラーム文明圏，9世紀から15世紀にかけてのヨーロッパ世界などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ユーラシア大陸以外の文明，イスラーム文明圏，9世紀から15世紀にかけてのヨーロッパ世界などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し，その結果を適切に表現している。	○	○		1
	【知識及び技能】 宋とモンゴル帝国，インドと東南アジアにおけるイスラーム世界，大交易時代などについて，基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 宋とモンゴル帝国，インドと東南アジアにおけるイスラーム世界，大交易時代などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 宋とモンゴル帝国，インドと東南アジアにおけるイスラーム世界，大交易時代などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究する態度を養う。	【指導事項】 第９章　中華世界の変容とモンゴル帝国 １　唐の崩壊後の東アジア ２　宋代の新展開 ３　モンゴル帝国 ４　元の成立 第10章　インド洋海域世界の発展と東南アジア １　イスラームのインドとインド洋海域への浸透 ２　海と陸の結合 ―― 東南アジア世界の発展 第11章　大交易時代と世界の一体化 １　アジア交易圏の再編と活況 ２　ポルトガルのアジア進出 ３　明と日本・朝鮮の動向 ４　一体化に向かう世界 ５　大交易時代の世界 【教材・一人一台端末の活用】 教科書，授業プリント，課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイロノートを活用	【知識・技能】 ○世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ，どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。 ○インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。 ○大交易時代に，なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に大きく変化したのか，また，世界の諸地域間の関係は，前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのかなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 宋とモンゴル帝国，インドと東南アジアにおけるイスラーム世界，大交易時代などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宋とモンゴル帝国，インドと東南アジアにおけるイスラーム世界，大交易時代などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究しようとしている。	○	○	○	27
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し，その結果を適切に表現している。	○	○	○	1
3学期	【知識及び技能】 16世紀から18世紀にかけてアジアに成立した諸帝国，ヨーロッパにあらわれた新しい国家などについて，基本的な知識を理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 16世紀から18世紀にかけてアジアに成立した諸帝国，ヨーロッパにあらわれた新しい国家などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 16世紀から18世紀にかけてアジアに成立した諸帝国，ヨーロッパにあらわれた新しい国家などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究する態度を養う。	【指導事項】 第12章　ユーラシア諸帝国の繁栄 １　中央アジアと西アジアの繁栄 ２　インドの大国 ―― ムガル帝国 ３　清と東アジア 第13章　主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 １　主権国家群の形成と宗教改革 ２　オランダの繁栄と英仏の国家形成 ３　商業覇権と植民地建設 ４　啓蒙専制国家の発展 ５　近世ヨーロッパの社会と文化 【教材・一人一台端末の活用】 教科書，授業プリント，課題の提出や討論および振り返りには一人一台端末でロイロノートを活用	【知識・技能】 ○16世紀から18世紀にかけて，アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか，また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。 ○16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家には，どのような特徴があったのか，また，その形成にはどのような要因が働いていたのかなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 16世紀から18世紀にかけてアジアに成立した諸帝国，ヨーロッパにあらわれた新しい国家などについての諸資料を読みとることを通して，歴史事象の特徴について多面的・多角的に考察・議論し，文章等で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 16世紀から18世紀にかけてアジアに成立した諸帝国，ヨーロッパにあらわれた新しい国家などの歴史事象を材料として，よりよい社会の実現をめざして課題を主体的かつ対話的に学びを深め，追究しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査		【知識・技能】 授業中に扱った基本的な知識を理解している。諸資料を扱う技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 諸資料をもとに思考力を働かせて判断・考察し，その結果を適切に表現している。	○	○	○	1

年間授業計画

保谷　高等学校　令和６年度（2学年用）　教科　公民　　科目　公共

教　科：公民　　　科　目：公共　　　単位数：　2　単位

対象学年組：第 2 学年　1 組～　8 組

教科担当者

使用教科書　（公共（実教出版）　　）

教科　公民　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて，多面的・多角的に考察し公正に判断している。

【学びに向かう力、人間性等】国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元：社会を作る私たち 【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。	・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	6
	単元：人間としてよく生きる 【知識・技能】 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めさせる。	・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。	【知識・技能】 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元：他者とともに生きる 【知識・技能】 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めさせる。	・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現させる。	【知識・技能】 ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2学期	単元：日本国憲法の基本的性格 【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解させる。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けさせる。	・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解させる。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 ・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元：日本経済の特質と国民生活 【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けさせる。	・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	単元：国際政治の動向と課題 【知識・技能】 ・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けさせる。	・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	【知識・技能】 ・国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	単元：国際経済の動向と課題 【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けさせる。	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1 合計 60

年間授業計画　新様式

保谷　高等学校　令和６年度（２学年用）　教科　数学　科目　数学Ⅱ

教　科：数学　　科　目：数学Ⅱ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第 2 学年　1 組～　8 組

教科担当者

使用教科書　（数研出版　高等学校　数学Ⅱ　）

教科　数学　の目標：

【知　識　及　び　技　能】各単元における基本事項について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を培い，それらを活用する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識できるようにするとともに、自分で進んで学習しようとする意欲を育む。

科目　数学Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	第４章 三角関数 加法定理を理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第２節　加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 加法定理を利用して，種々の三角関数の値を求めることができる。2倍角，半角の公式などを利用して，三角関数の値を求めたり，等式を証明したり，三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式を解くことができる。三角関数の合成ができ，合成後の変数のとる値の範囲に注意して，方程式を解いたり，関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 角を弧度法で表した場合にも，加法定理が適用できる。2倍角の公式を利用して，三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第１章 式と証明 多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	第１節　式と計算 1. ３次式の展開と因数分解 2, 二項定理 3. 整式の割り算 4. 分数式とその計算 5. 恒等式 第２節　等式・不等式の証明 6. 等式の証明 7. 不等式の証明 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 3次式の展開の公式，3次式の因数分解の公式を利用することができる。パスカルの三角形の性質を理解し，二項定理を利用して展開式やその項の係数を求めることができる。多項式の割り算の計算ができ，割り算で成り立つ等式を理解し利用することができる。分数式の約分，四則計算ができ，計算の結果を既約分数式または多項式の形にして表現することができる。恒等式と方程式の違いを理解し，恒等式となるように係数を決定することができる。恒等式A = Bの証明を，適切な方法で行うことができる。実数の大小関係の基本性質に基づいて，自明な不等式を証明したり，平方の大小関係や相加平均・相乗平均の大小関係を利用して，不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 二項定理をパスカルの三角形と結び付けて考えることができる。多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。分数式を分数と同じように約分，通分して扱うことができる。与えられた条件式の利用方法を考え，等式を証明することができる。差を利用して，不等式を証明することができる。不等式の証明に実数の性質を利用できるように，式変形を考えることができ，等号成立について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
２学期	第２章 複素数と２次方程式 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	第１節 複素数と２次方程式の解 1. 複素数とその計算 2. ２次方程式の解 3. 解と係数の関係 第２節　高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 複素数，複素数の相等の定義を理解し，複素数の四則計算ができる。負の数の平方根を理解し，i を用いて処理することができる。2次方程式の解の公式を利用して，2次方程式を解くことができる。判別式を利用して，2次方程式の解の種類を判別することができる。解と係数の関係を使って，対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。対称式を基本対称式で表して，式の値を求めることができる。2次方程式の解を利用して，2次式を因数分解できる。和と積が与えられた2数を，2次方程式を解くことにより求めることができる。剰余の定理を利用して，余りを求めることができる。高次式を因数分解でき，その因数分解や因数定理を利用して，高次方程式を解くことができる。高次方程式の虚数解から，方程式の係数を決定することができる。 【思考・判断・表現】 複素数の表記を理解し，複素数の四則計算の結果は複素数であることを理解している。与えられた2数を解にもつ2次方程式が1つには定まらないことを理解している。異なる2つの実数 α，β が正の数，負の数，異符号であることを，同値な式で表現できる。2次方程式の解の符号に関する問題を，解と係数の関係を利用して解くことができる。高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	15
	第３章 図形と方程式 座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	第１節　点と直線 1. 点と直線 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. ２直線の関係 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 数直線上，平面上において，2点間の距離，線分の内分点，外分点の座標が求められる。三角形の重心の座標の公式や与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。2直線の平行・垂直条件，点と直線の距離の公式を理解していて，それを利用することができる。 【思考・判断・表現】 線分の内分点，外分点の公式を統一して捉えようとしている。点の座標を求めるのに，図形の性質を適切に利用できる。直線が x，y の1次方程式で表されることを理解している。直線に関して対称な点の座標を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度で取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第３章 図形と方程式 座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。 図形を，与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに，不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第２節　円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. ２つの円 第３節　軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。x，y の2次方程式を変形して，その方程式が表す図形を調べたり，3点を通る円の方程式を求めたり，円と直線の共有点の座標を求めることができる。円と直線の位置関係を適切な方法で判定できる。円の接線の公式を理解していて，円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。2つの円の位置関係と中心間の距離と半径から円の方程式を求めることができる。2つの円の共有点の座標を求める際に，適切な方法で文字を消去することができる。点が満たす条件から得られた方程式を図形として考察することができる。軌跡の定義を理解し，与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。媒介変数処理が必要な軌跡の求め方を理解している。不等式や連立不等式の表す領域を図示することができる。 【思考・判断・表現】 円の方程式が x，y の2次方程式で表されることや3点を通る円はこの3点を頂点とする三角形の外接円であることを理解している。円と直線の共有点の個数を，2次方程式の実数解の個数で考察することができる。円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで，円と直線の位置関係を考察することができる。2つの円の位置関係を，中心間の距離と半径の関係で考察することができる。平面上の点の軌跡を，座標平面を利用して考察することができる。不等式の満たす解を，座標平面上の点の集合としてみることができる。条件の真理集合を考えることにより，命題の真偽を真理集合の包含関係として考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	15
	第５章 指数関数と対数関数 指数関数について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。 対数関数について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	第１節　指数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 第２節 3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 指数が整数の場合指数や有理数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を利用した計算をすることができる。累乗根の定義を理解し，累乗根の計算ができる。また，累乗根を含む計算では，分数指数を利用して計算することができる。指数が無理数の場合の累乗根の意味を理解することができる。指数関数や対数関数のグラフの概形，特徴を理解し，指数関数や対数関数を含む不等式を解くことができる。指数と対数とを相互に書き換えることができる。対数の定義を理解し，対数の値を求めることができる。対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。底の変換公式を等式として利用できる。常用対数の定義を理解し，それに基づいて種々の値を求めたり，桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数法則が成り立つように，指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。累乗根をグラフによって考察することができる。指数関数や対数関数のグラフの特徴を理解している。指数関数や対数関数の増減によって，大小関係や不等式・方程式を考察することができる。指数法則から，対数の性質を考察することができる。対数と指数の関係から，両者のグラフが互いに直線 y=x に関して対称であるという見方ができ関係や方程式・不等式を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度で学習に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
３学期	第６章 微分法と積分法 微分係数や導関数の意味について理解し，それらの有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。 導関数の理解を深めるとともに，導関数の有用性を認識できるようにする。 積分の考えについて理解し，それらの有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	第１節　微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式 第２節 関数の値の変化 4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用 第３節 積分法 6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積 ・教科書、問題集、端末利用 ・提出物、小テスト	【知識・技能】 極限値を計算して微分係数を求めることができる。平均変化率，微分係数の定義を理解し，それらを求めることができる。微分係数の図形的意味や定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。導関数の性質を利用して，種々の導関数の計算ができる。導関数を利用して，微分係数を求めたり，関数の増減を調べることができる。微分係数を利用して，接線の方程式を求めることができる。接線の方程式の公式を利用して，接線の方程式を求めることができる。関数の増減や極値を調べるのに，増減表を書いて考察し，関数の極値を求めたり，グラフをかいたりすることができる。不定積分の定義や性質を理解し，それを利用する不定積分の計算方法を理解している。与えられた条件を満たす関数を，不定積分を利用して求めることができる。定積分の定義や性質を理解し，それを利用する定積分の計算方法を理解している。定積分は定数であることを理解し，それを利用して，定積分を含む関数を求めることができる。直線や曲線で囲まれた部分の面積，上下関係が入れ替わる2つの曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。 【思考・判断・表現】 導関数を表す種々の記号を理解していて，それらを適切に使うことができる。接線の傾きで関数の増減が調べられることを理解している。最大値・最小値と極大値・極小値の違いを，意識して考察できる。方程式の実数解の個数を，関数のグラフと x 軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。不等式を，関数のグラフと x 軸との上下関係に読み替えて，考察できる。微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。定積分の性質の等式を，左辺から右辺，右辺から左辺への変形として利用できる。面積を求める際には，グラフの上下関係，積分範囲などを，図をかいて考察している。図形の対称性に着目した面積計算をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判	○	○	○	35
	定期考査			○	○		1
							合計 140

年間授業計画　新様式例

保谷　高等学校 令和6年度（2学年用） 教科　数学　科目 数学B

教　科：　数学　　科　目：　数学B　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　2 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版　高等学校数学B　　）

教科　数学　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目　数学B　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測j についての基本的な概念や原理、法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	数列と一般項	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数列の定義、表記について理解している。 【思考・判断・表現】 数の並び方からその規則性を推定して数列の一般項を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする。	○	○	○	4
	等差数列 等差数列の和 等比数列	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 等差数列の公差、一般項を理解している。 【思考・判断・表現】 隣接する項の関係が考察できる。等差数列の和を求める方法を工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列の和の公式を自ら導こうとする。	○	○	○	4
	定期考査１			○	○	○	1
	等比数列の和 和の記号 階差数列	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 等比数列の和の公式を適切に利用して和を求めることができる。Σの計算ができる。階差数列を利用して一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 等比数列の和を求める方法を工夫できる。数列の和を記号で表して簡単に計算する方法を工夫する。数列の規則性を発見する。 【主体的に学習に取り組む態度】 複利計算に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。群数列に興味を持ち考察しようとする。具体的な事象の考察に漸化式を積極的に活用しようとする。	○	○	○	5
	いろいろな数列の和 漸化式	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 工夫をして和を求めることができる。漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 既知の漸化式に帰着させて複雑な漸化式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事象に漸化式を活用しようとする。	○	○	○	5
	定期考査２			○	○	○	1
2学期	漸化式 数学的帰納法	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	【知識・技能】 数学的帰納法を用いて命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 数学的帰納法以外で、式の証明をについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 いろいろな事象について、数学的帰納法で証明できるかどうか試みようとする。	○	○	○	10
	問題 章末問題	数列やその一般項の表し方について理解する。基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	数列について、3観点の総合力を養う。	○	○	○	4
	定期考査３			○	○	○	1
	確率変数と確率分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解する。 【思考・判断・表現】 試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	5
	確率変数の期待値と分散 確率変数の和と積 二項分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 期待値。分散。標準偏差を求めることができる。 和と積の期待値を求めることができる 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴を考察することができる。 確率変数の和の期待値を、複雑な場合に応用する。 【主体的に学習に取り組む態度】 期待値、分散に関する公式を、既知の公式を用いて導こうとする。 確率変数の独立について注意を向けようとする。	○	○	○	8
	定期考査４			○	○	○	1
3学期	確率変数の和と積 二項分布	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 独立な確率変数の積の期待値を求めることができる。 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二項分布のグラフに関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	8
	正規分布 統計的な推測	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。母集団と標本、標本平均について理解し、仮設検定ができるようにする。	【知識・技能】 日常の身近な問題を統計処理するのに、正規分布を利用できる。 【思考・判断・表現】 正規分布を利用して現実のデータについて考察することができる。 「主体的に学習に取り組む態度】 様々なデータについて考察しようとする。	○	○	○	17
	定期考査５			○	○	○	1

年間授業計画

保谷　高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　数学　科目 数学Ｃ

教　科： 数学　　科　目： 数学Ｃ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版　高等学校数学Ｃ　　）

教科　数学　　の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を培う。

科目　数学Ｃ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、複素数平面と平面上の曲線についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的に論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ベクトル ベクトルの演算	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示と演算ができるようにする。	【知識・技能】 ベクトルの定義や表し方を理解している。 ベクトルの演算ができる。 【思考・判断・表現】 ベクトルの定義を理解し、図示できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルの演算に興味を持ち、数式の演算との類似点を考察しようとする。	○	○	○	3
	ベクトルの成分 ベクトルの内積	ベクトルの内積とベクトルのなす角について考察できるようにする。	【知識・技能】 ベクトルの成分計算と内積の計算ができる。 【思考・判断・表現】 平行条件と垂直条件を活用して、等式の証明や図形の問題に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の量をベクトルを用いて表現しようとする。内積の性質を既習の知識を用いて証明しようとする。	○	○	○	4
	定期考査１			○	○	○	1
	位置ベクトル ベクトルの図形への応用	位置ベクトルについて理解し、図形の性質を調べるのに活用できるようにする。図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めることができる。	【知識・技能】 位置ベクトルの意味を理解し、内分点、外分点の位置ベクトル、3点が一直線上にあることを証明できる。 【思考・判断・表現】 位置ベクトルを活用して図形の性質が考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	○	○	○	5
	図形のベクトルによる表示	位置ベクトルについて理解し、図形の性質を調べるのに活用できるようにする。図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めることができる。	【知識・技能】 直線や円のベクトル表示ができる。 【思考・判断・表現】 点Pの存在範囲を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	○	○	○	6
	定期考査２			○	○	○	1
2学期	空間の点とベクトル ベクトルの成分	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 点と点の距離、ベクトルの和と差、成分の計算ができる。 【思考・判断・表現】 空間のベクトルが3つのベクトルの線形和で一通りに表される理由について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面上のベクトルの性質が空間でも成り立つことに興味をもつ。ベクトルの定義が次元によらないことに興味をもつ。	○	○	○	7
	ベクトルの成分 ベクトルの内積	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 内積の計算ができる。ベクトルのなす角を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ベクトルの垂直条件が活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 内積の定義が次元によらないことに興味をもつ。	○	○	○	7
	定期考査３			○	○	○	1
	ベクトルの図形への応用 座標空間における図形	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 位置ベクトルの定義や内分点・外分点、重心などの位置ベクトルを理解している。球面の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ４点が同一平面上にある条件や一直線上にある条件について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間図形の考察にベクトルを活用しようとする。	○	○	○	12
	問題 章末問題	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。座標空間における点や図形について考察できるようにする。	【知識・技能】 基本問題について技能の習熟を図る。 【思考・判断・表現】 図形の問題にベクトルの考えを活用しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ベクトルの総合的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	2
	定期考査４			○	○	○	1
3学期	複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理	複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。	【知識・技能】 複素数の絶対値、実数倍、和、積、商、共役複素数の性質、極形式、ド・モアブルの定理について理解している。 【思考・判断・表現】 複素数の図形的な意味について考察しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ド・モアブルの定理を自ら導こうとする。	○	○	○	12
	複素数と図形 章末問題 2次曲線	複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。 2次曲線の定義や性質を理解し、問題の解決に活用できるようにする。	【知識・技能】 複素数の方程式について、意味を考えたり計算などをして表す図形を求めることができる。 【思考・判断・表現】 点ｚと連動して動く点ｗが描く図形について考察したり説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の問題を、複素数の演算の図形的な意味を用いて積極的に考察しようとする。	○	○	○	12
	定期考査５			○	○	○	1

年間授業計画 新様式例

保谷 高等学校 令和6年度（２学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教 科： 理科 科 目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版 物理基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動と様々なエネルギーに関わり、科学的な見方・考え方を働かせ、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究し、表現しようとする力を養う。	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	速度 【知識及び技能】 運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら，等速直線運動、合成速度・相対速度を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・等速直線運動 ・合成速度・相対速度 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・物体の速さの式を理解している。 ・等速直線運動の式およびx−t図，v−ｔ図を理解できている。 ・物体の運動を表すには向きが必要であり，速さと速度，移動距離と変位の違いを理解している。 ・平均の速度と瞬間の速度の違いを理解している。 ・直線上の合成速度，相対速度の意味と求め方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・等速直線運動する物体の運動のようすについて説明できる。 ・動く観測者から見た場合の，観測者と同一直線上を動く物体の運動のようすを説明できる。 ・速度の意味・表し方，またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し，それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の運動から，速さ，時間，進む距離についての関係に興味をもち，速さと速度の違いや，相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。	○	○	○	5
	加速度 【知識及び技能】 運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら，直線運動の加速度を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・加速度 ・等加速度直線運動 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・加速度の定義や正負の意味を正しく理解している。 ・等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し，その式やグラフを正しく運用することができる。 【思考・判断・表現】 ・等加速度直線運動する物体のようすについて説明できる。 ・加速度の意味・表し方，またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し，それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 加速度を学ぶ意味を理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	落体の運動 【知識及び技能】 運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら，落体の運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・自由落下運動 ・投げおろし運動 ・投げ上げ運動 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・自由落下や鉛直投射において，与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができる。 ・自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解している。 ・水平投射は鉛直方向には自由落下，水平方向には等速直線運動をしていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・自由落下する物体のようすについて説明できる。 ・重力加速度の意味を正しく理解し，落下する物体の運動のようすを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の運動から，落下する物体の運動に興味をもち，自由落下する物体の運動，鉛直投射された物体の運動の表し方を理解しようとしている。	○	○	○	3
	力とそのはたらき・力のつりあい 【知識及び技能】 】様々な力とその働きを日常生活や社会と関連付けながら，様々な力，力のつり合い，運動の法則，物体の落下運動を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な力とその働きについて，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な力とその働きに主体的に関わり，科学 的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・いろいろな力 ・力のつりあい ・液体や気体から受ける力 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・重力，垂直抗力，摩擦力，糸が引く力，弾性力について，理解できている。 ・力がベクトル量であることを認識し，力の合成や分解ができる。 ・注目する物体にはたらく力が指摘でき，つりあいの式が立てられる。 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力を区別して考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・フックの法則とばね定数の意味を理解し，グラフからばね定数を読み取ることができる。 ・重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であり，運動の状態によらないことを説明できる。 ・力の表し方を理解し，「1N」はどのような力か説明できる。 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力の違いを理解し，力のつりあいの式を考えたり，それぞれの2力の間の関係について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・見ること，触ることができない「力」に対して，どのようにして力の存在がわかるのか，また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。 ・力が合成・分解して表されることに興味をもち，「力がつりあう」とはどういうことかを理解しようとしている。 ・「作用・反作用」と「つりあい」の2力との違いについて，考えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	運動の法則 【知識及び技能】 物体が力を受けるとき、あるいは受けないとき、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力がはたらいているかを指摘できる。さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて、考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動状態は受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとする態度を養う。	指導事項 ・運動の３法則 ・摩擦を受ける運動 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・物体が力を受けるとき（あるいは受けないとき），運動状態はどのようになるか，逆に，物体の運動状態からどのような力がはたらいているかを指摘できる。 ・さまざまな運動をしている物体について，運動方程式を立てて考えることができる。 ・静止摩擦力を用いた力のつりあいの式を立てたり，動摩擦力を用いた運動方程式を立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・慣性の法則，運動方程式が理解でき，問題解決にあたって式の運用が正しくできる。 ・運動方程式を用いて，物体の運動を説明できる。 ・摩擦力がどのような力かを理解し，運動を妨げる向きにはたらく運動について考えることができる。物体にはたらく摩擦力について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動状態は，受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち，理解しようとしている。 ・摩擦力がないときと比較するなどして，どのようなときに静止摩擦力や動摩擦力が現れるか，またそのときの物体の運動ついて，興味・	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】 力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら，エネルギーと仕事、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーについて，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 力学的エネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・仕事，仕事率を計算して求めることができる。 ・物体に対して力がはたらいていても，仕事が0のときもあり，それがどのようなときであるかを理解している。 ・運動エネルギーの変化は物体にされた仕事に等しいことを理解している。重力による位置エネルギー，弾性力による位置エネルギーを計算することができる。 ・さまざまな物体の運動について，力学的エネルギー保存則が成りたつための条件が整っているかどうかを判断できる（→保存力以外の力が物体に対して仕事をしない）。 【思考・判断・表現】 ・物体に対して力がはたらいていても，仕事が0のときもあり，それがどのようなときであるかを説明できる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて，物体の運動を定性的に考えることができる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて，運動する物体のもつ運動エネルギー，位置エネルギー，力学的エネルギーの変化のようすを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し，物理でいうところの「仕事」について理解しようとしている。 ・力学的エネルギー保存則について興味関心をもち，理解しようとしている。	○	○	○	9
	熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱に関わる現象を日常生活や社会と関連付けながら，温度と熱、熱の移動と保存、熱と仕事、熱効率と不可逆変化を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 熱に関わる現象について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 熱に関わる現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う	指導事項 ・熱と物質の状態 ・熱と仕事 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・温度，熱運動，熱量，比熱，熱容量などが正しく理解されている。 ・熱量の保存について理解し，熱量保存の式を立てることができる。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則について理解している。 ・熱機関と熱機関の効率について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日常的な事象を，学習内容に照らし合わせて説明できる。 ・温度や熱容量，比熱はどのような物理量か，自分の言葉で説明できる。 ・不可逆変化とはどのような変化かを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ものの温まりやすさなど，熱にかかわる現象や熱と仕事の関係について興味関心をもち，理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
3学期	波の性質 【知識及び技能】 波の現象を日常生活や社会と関連付けながら，波の表し方，波の重ね合わせ，音の性質，弦や管の固有振動を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 波の現象について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 波の現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・波と媒質の運動 ・波の伝わり方 ・音の性質 ・発音体の振動と共振・共鳴 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・波の発生原理や基本事項を理解している。 ・縦波と横波の違いを理解している。 ・縦波を横波の形で表現できている。 ・日常生活での体験を通して，音の波としての性質を理解している。 ・うなりについて，音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・波の伝わるようすを，グラフで表現することができる。 ・波に基本事項について説明できる。与えられた情報を正しく読み取り，問いに答えられている。 ・音を伝える際，空気などの媒質が必要であることを説明できる。 ・音の特徴づける3つの要素について説明できる。 ・うなりとはどのような現象であるかを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な波の現象に興味をもち，波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。 ・音に関する身近な問いかけについて，自分の考えを述べることができる。 ・身近な音の現象に興味をもち，基本事項について理解しようとしている。	○	○	○	11
	電気 【知識及び技能】 電気と磁気に関わる現象を日常生活や社会と関連付けながら，電流と電圧，電気抵抗，電気とエネルギー，直流と交流、電磁波を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 電気の現象について，観察，実験などを通して探究し，様々な力とその働きにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 電気や磁気の現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	指導事項 ・電気の性質 ・電流と電気抵抗 ・電気とエネルギー ・電流と磁場 ・交流と電磁波 ・物理学と社会 一人１台端末の活用 ・ロイロノート	【知識・技能】 ・物体の帯電するしくみについて理解している。 ・導体・不導体，半導体の違いについて理解している。 ・電流と電圧の基礎について理解している。 ・オームの法則，抵抗の接続，抵抗率の基礎について理解している。 ・直線電流，円形電流，ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができる。 ・電磁誘導の基礎を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ジュール熱について，電流と電圧とどのような関係にあるか説明できる。 ・電圧を一定にしたとき，消費電力と抵抗値は反比例の関係にあることを説明できる。 ・抵抗率，消費電力について理解しており，それをもとに考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常で使う電気を踏まえて，ジュール熱や電力について，主体的に考えることができる。 ・直流と交流の違いや送電時の工夫について，主体的に考えることができる。 ・スポーツや防災，自動車となどの身近な科学技術に，物理学がどのように活用されているかについて興味をもつ。	○	○	○	6 合計
	定期考査			○	○		60

年間授業計画

保谷　高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　　理科　　科目 物理入門

教　科：　理科　　科　目：　物理入門（学校設定科目）　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1 組～　　2 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版　物理７０７・７０８　総合物理　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　物理入門　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第4編 電気と磁気 電気に関する現象についての観察，実験などを通して，次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア　電気について，日常生活や社会と関連付けて，基本的な物理法則等を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。 イ　電気について，観察，実験などを通して探究し，電気と電流における規則性や関係性を見いだして表現すること。	1　オームの法則 2　ジュール熱　電力量と電力 3　直流回路　直列・並列 4　電流計と電圧計 5　キルヒホッフの法則 6　起電力の内部抵抗 7　非直線抵抗・半導体ダイオード	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察，実験などを行い，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的なな事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	10
	第1編 力と運動 物体の運動についての観察，実験などをとおして，次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア　様々な運動について，基本的な物理法則等を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。 イ　様々な物体の運動について，観察，実験などを通して探究し，平面内の運動における規則性や関係性を見いだして表現すること。	1　平面上の位置・速度・相対速度 2　落体の運動（水平投射） 3　落体の運動（斜方投射）		○	○	○	10
2学期	第1編 力と運動 物体の運動についての観察，実験などをとおして，次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア　様々な運動について，基本的な物理法則等を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。 イ　様々な物体の運動について，観察，実験などを通して探究し，剛体における力のつり合い，運動量における規則性や関係性を見いだして表現すること。	1　剛体にはたらく力 2　力のモーメント 3　剛体にはたらく力のつりあい 4　重心 5　剛体の傾きと転倒 6　運動量と力積 7　運動量の保存 8　反発係数	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察，実験などを行い，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的なな事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	27
3学期	第2編 熱と気体 熱と気体分子の運動についての観察，実験などをとおして，次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア　熱と気体分子の運動について，基本的な物理法則等を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。 イ　熱と気体分子の運動について，観察，実験などを通して探究し，規則性や関係性を見いだして表現すること。	1　気体の法則 2　気体分子の運動 3　気体の状態変化	【知識・技能】 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・ロイロドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察，実験などを行い，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 物理的なな事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 確認テスト・ドリル・振り返りシート	○	○	○	13
	第3編 波 水面波，音，光などの波動現象について観察，実験などを通して，次の事項を身に付けることができるように指導する。 ア　波について，日常生活や社会と関連付けて，基本的な物理法則等を理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けること。 イ　波について，観察，実験などを通して探究し，波の伝わり方，音，光における規則性や関係性を見いだして表現すること。〃	1　波のグラフ 2　平面上を伝わる波 3　平面上を伝わる波の干渉 4　平面上を伝わる波の反射と屈折		○	○	○	10
							合計 70

年間授業計画

保谷　高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　理科　　科目 化学入門

教　科：　理科　　科　目：　化学入門　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　 1 組～　 2 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版　化学７０６　化学　　）

教科　理科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　化学入門　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　固体の構造 第2章　物質の状態変化 【知識及び技能】 物質の状態とその変化，溶液と平衡について，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態と平衡について，観察，実験などを通して探究し，物質の状態とその変化，溶液と平衡における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	1 結晶とアモルファス 2 金属結晶 3 イオン結晶 4 分子間力と分子結晶 5 共有結合の結晶 1 粒子の熱運動 2 三態の変化とエネルギー 3 気液平衡と蒸気圧	【知識・技能】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けようとしている。 〈評価方法〉 ドリル・定期考査 【思考・判断・表現】 観察，実験などを行い，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 ドリル・実験プリント・定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。 〈評価方法〉 実験プリント・ドリル・振り返りシート	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第3章　気体 【知識及び技能】 物質の状態とその変化，溶液と平衡について，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態と平衡について，観察，実験などを通して探究し，物質の状態とその変化，溶液と平衡における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	1 気体の体積 2 気体の状態方程式 3 混合気体の圧力 4 実在気体		○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	第4章　溶液 第1章　化学反応とエネルギー 【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについて，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化と平衡について，観察，実験などを通して探究し，化学反応とエネルギーにおける規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	1 溶解とそのしくみ 2 溶解度 3 希薄溶液の性質 4 コロイド溶液 1 化学反応と熱 2 ヘスの法則 3 化学反応と光		○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	第2章　電池と電気分解 第3章　化学反応の速さとしくみ 【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化と平衡について，観察，実験などを通して探究し，化学反応と化学平衡における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	1 電池 2 電気分解 1 化学反応の速さ 2 反応条件と反応速度 3 化学反応のしくみ		○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	第4章　化学平衡 【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について，次のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の変化と平衡について，観察，実験などを通して探究し，化学反応と化学平衡における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。	1 可逆反応と化学平衡 2 平衡状態の変化 3 電解質水溶液の化学平衡		○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計 70

週ごとの指導計画(単元指導計画)

保谷　高等学校 令和６年度(2学年用)　教科　芸術科　科目 音楽Ⅱ

教　科： 芸術科　　科　目： 音楽Ⅱ　　単位数： 2　単位

対象学年組：第　2 学年　3 組～　8 組

使用教科書：（ MOUSA2　　）

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する特質について理解し、表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わうことができる。

【学びに向かう力、人間性等】互いの存在、表現を認め合い、高め合う力を育成する。

題材の評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことが出来るようになる。	主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う。

	具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)					
			歌	器	創						3・4組	5・6組	7・8組	組	組	組
1学期	歌唱	校歌 カーロミオペン	○				○	○	○	【知識・技能】 きちんとした発声を意識しているか。 【思考・判断・表現】 曲想に合った音色で歌っているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	4/16, 23, 5/7					
	クラッピング リズム聴音	クラッピングカルテット		○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け，表している。 【思考・判断・表現】 音色，リズム，速度，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と手拍子や足踏み，音色や奏法との関わり，及び他者との調和を意識	5/14, 28, 6/4, 11, 18, 25					
2学期	ギター 弾き語り	日曜日よりの使者 夢の中へ		○			○	○	○	【知識・技能】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。 【思考・判断・表現】 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音色や奏法との関わりに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	9/3, 17, 24, 10/8, 10/22. 29, 11/5, 12					
	鑑賞	オペラ座の怪人				○	○	○	○	【知識・技能】 音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 曲や演奏に対する評価とその根拠につい て考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	11/26, 12/3					
3学期	合唱	旅立ちの日に	○							【知識・技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な，他者との調和を意識して歌う技能，及び合唱の表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し， それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わ りについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり，合唱による表現の特徴，及び各パートや指揮者の役割に関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	1/14, 21, 28, 2/18					

年間授業計画　新様式例

保谷　高等学校 令和6年度（２学年用）　教科　芸術　科目　美術Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　3 組～　8 組

使用教科書：（ 美術２ ）

教科　芸術　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】意図に基づいて表現するための技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を

科目　美術Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 表現とは何か 【知識及び技能】 　形や色彩、構図などの働きを理解し、クレーの作品の造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 クレーの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などから表現とは何かについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 表現とは何かを考える鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組む。	・数枚の異なった表現の絵画を鑑賞し、誰が描いた作品か、どのような表現の特徴があるかんどについて考える。 ・教科書				○	発言の様子、ワークシートの記述		○	○	1
	A 選択課題「水・大気・質感のイメージを描く」 【知識及び技能】 　・水がつくりだす印象や風景のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 ・大気や光、奥行きや空間、風景のイメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 ・質感や全体イメージなどを捉え、絵の具などの表現方法を創意工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力】 ・風景のイメージなどを基に、水による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする ・奥行きや空間などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・ものや場面のイメージを基に、質感の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性】 ・水による表現の効果を生かして風景画に表す学習活動に、主体的に取り組む ・奥行きや空間を生かして風景画に表す学習活動に、主体的に取り組む ・質感を生かして、ものや場面のイメージを表す学習活動に、主体的に取り組む	・デッサンによる表現方法の模索 ・モチーフのよさや描きたい題材の魅力、自分との関連性を考えながら描きたい情景を探し出す ・教科書	○				活動の様子、ワークシート、デッサン、エスキース、制作中の作品	○	○	○	12
	A　作家探求 【知識及び技能】 形や素材、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉える 【思考・判断・表現】 高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻の特質、美術文化の継承と創造について考える 【主体的に学習に取り組む姿勢】 高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻などを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む	・光太郎の「手」を鑑賞し、そこから感じる印象について発表しあう ・年表から光雲、ロダン、萩原守衛、光太郎の年齢関係を理解し、江戸末期から明治に至る時代背景を考察する				○	・活動の様子、ワークシート	○	○	○	4
2学期	A　琳派―継承と創造の系譜― 【知識及び技能】 単純化、大胆な構図、金銀の箔を背景に用いた表現などの効果、全体のイメージなどを捉える 【思考力、判断力、表現力】 琳派の表現のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考える 【学びに向かう力】 琳派の作品の表現のよさや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む	・琳派についての知識を学ぶとともに、その他の作品を鑑賞する。 ・教科書				○	発言の様子、ワークシート	○	○	○	2
	A　生物を空想して 【知識及び技能】 形や色彩の効果、既存の生き物や器物などの特徴やイメージを捉え、表現方法を創意工夫して表す 【思考力、判断力、表現力】 空想の生物の能力や生息場所のイメージなどを基に、形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする 【学びに向かう力】 空想の生物を考えて表す学習活動に、主体的に取り組む	・教科書の参考作品を鑑賞し、作者が想像した生き物の能力や性格、生息場所など、独自性や表現の工夫について読み取る。 ・空想の生き物を発想・構想する ・教科書	○				活動の様子、ワークシート、アイデアスケッチ	○	○	○	4
3学期	A　生物を空想して 【知識及び技能】 形や色彩の効果、既存の生き物や器物などの特徴やイメージを捉え、表現方法を創意工夫して表す 【思考力、判断力、表現力】 空想の生物の能力や生息場所のイメージなどを基に、形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする 【学びに向かう力】 空想の生物を考えて表す学習活動に、主体的に取り組む	・想像した生き物をスケッチをもとに芯材を組み立てる ・芯材に石粉粘土をつけていく ・石粉粘土	○				活動の様子、制作中の作品	○	○	○	4
										合計	27

年間授業計画　新様式例

保谷　高等学校 令和６年度（２学年用）　教科　　外国語　　　科目 英語コミュニケーションII

教　科：　外国語　　　　　　科　目：　英語コミュニケーションII　　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2　学年　　1　組～　　8　組

使用教科書：（　FREX　English Communication II　（株）増進堂　）

教科　外国語　　　　　　　の目標：

【知識及び技能】	英語の特徴やきまりに関する事項を理解して、目的や場面，状況などに応じて話されたり書かれた文等を、聞いたり読んだりして，その内容を捉える技能を身に付けるようにする。更には、日常的な話題や社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して伝え合ったり，話して伝える技能を身に付け，情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えたり，必要な情報を読み取り，書き手の意図や概要，要点を捉えたり，話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったり，書けるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，話し手・読み手・聞き手・書き手に配慮しながら，主体的・自律的に英語で話された事を聞いたり，書かれた事を読んだり，更には，英語を用いて話そうとしたり書いたりする事が出来るようにする。

科目　英語コミュニケーションII　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【聞くこと】英語の特徴やきまりに関する事項を理解して、目的や場面，状況などに応じて話された文等を、聞いて，その内容を捉える技能を身に付けているか。 【読むこと】英語の特徴やきまりに関する事項を理解して、目的や場面，状況などに応じて話された文等を、読んで，その内容を捉える技能を身に付けているか。 【話すこと[やり取り]】英語の特徴やきまりに関する事項を理解して、日常的な話題や社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して伝え合う技能を身に付けているか。 【話すこと[発表]】英語の特徴やきまりに関する事項を理解して、日常的な話題や社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して話して伝える技能を身に付けているか。 【書くこと】英語の特徴やきまりに関する事項を理解して、日常的な話題や社会的な話題について，情報や考え，気持ちなどを，論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けているか。	【聞くこと】コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，必要な情報を聞き取り，話し手の意図や概要，要点を捉えているか。 【読むこと】コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，必要な情報を読み取り，書き手の意図や概要，要点を捉えているか。 【話すこと[やり取り]】コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合っっているか。	【聞くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め，話し手に配慮しながら，主体的・自律的に英語を聞こうとしているか。 【読むこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め，書き手に配慮しながら，主体的・自律的に英語を読もうとしているか。 【話すこと[やり取り]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手・話し手に配慮しながら，主体的・自律的に英語を用いて伝え合おうとしているか。 【話すこと[発表]】外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手に配慮しながら，主体的・自律的に英語を用いて話そうとしているか。 【書くこと】外国語の背景にある文化に対する理解を深め，読み手に配慮しながら，主体的・自律的に英語を用いて書こうとしているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson 1 Anime Pilgrimages 【知識及び技能】 受け身の不定詞，受け身の進行形に関する事項を理解している。それらを用いて会話を即興で成立させる技能を身につけている。受け身の不定詞，あるいは受け身の進行形を用いて一つのテーマについて書き，それを発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。また，本文から学んだ「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 1 Anime Pilgrimages 【知識及び技能】 受け身の不定詞，受け身の進行形に関する事項を理解している。それらを用いて会話を即興で成立させる技能を身につけている。受け身の不定詞，あるいは受け身の進行形を用いて一つのテーマについて書き，それを発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。また，本文から学んだ「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 「アニメ聖地巡礼」について自分なりに意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 2 Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams 【知識及び技能】 助動詞＋完了形，受け身の完了形の用法や決まりに関する事項を理解している。 受け身の完了形を用いて「あなたの身の回りで長い間使われているもの」について書き，それを発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 「岩谷の特別な撮影方法」「岩谷の撮影が成功するまでの努力」の内容を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文から学んだ「夢を持つこと」と「夢を実現するまでの努力」につい	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 2 Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams 【知識及び技能】 助動詞＋完了形，受け身の完了形の用法や決まりに関する事項を理解している。 受け身の完了形を用いて「あなたの身の回りで長い間使われているもの」について書き，それを発表する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 「岩谷の特別な撮影方法」「岩谷の撮影が成功するまでの努力」の内容を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文から学んだ「夢を持つこと」と「夢を実現するまでの努力」について自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査		○				○		○	○		1
	Lesson 3 The Surprising History of Salt 【知識及び技能】 教科書本文の音声を聞いて，if 節のない仮定法，動名詞の意味上の主語が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 塩の重要性とその使用方法について理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 塩の重要性とその使用方法を自ら理解しようとしている。塩について自分なりに意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 3 The Surprising History of Salt 【知識及び技能】 教科書本文の音声を聞いて，if 節のない仮定法，動名詞の意味上の主語が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 塩の重要性とその使用方法について理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 塩の重要性とその使用方法を自ら理解しようとしている。塩について自分なりに意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 4 A Future World, with or without Sea Turtles 【知識及び技能】 教科書本文の音声を聞いて，文中の as if を用いた仮定法，疑問詞＋ to do の形が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 「ウミガメの生態」「ウミガメ保護への取り組み」の内容を理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。本文から学んだ「環境問題」について自分なりの考えを持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文から学んだ「環境を守り，人や動物が住みやすい地球に向けて私	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 4 A Future World, with or without Sea Turtles 【知識及び技能】 教科書本文の音声を聞いて，文中の as if を用いた仮定法，疑問詞＋ to do の形が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 「ウミガメの生態」「ウミガメ保護への取り組み」の内容を理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 本文から学んだ「環境問題」について自分なりの考えを持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文から学んだ「環境を守り，人や動物が住みやすい地球に向けて私たちができること」について自分の意見を持ち，積極的	○	○	○	13
			○				○		○	○		1
2学期	Lesson 5 The Psychology of Waiting in Line 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，同格を導く接続詞 that，関係副詞の非制限用法が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 列に並ぶ人々に影響を与えるものは何なのか理解できる。 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 列に並ぶ人々に影響を与えるものは何なのか自ら理解しようとしている。 列に並ぶ人の心理状況について自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 5 The Psychology of Waiting in Line 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，同格を導く接続詞 that，関係副詞の非制限用法が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 列に並ぶ人々に影響を与えるものは何なのか理解できる。 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 列に並ぶ人々に影響を与えるものは何なのか自ら理解しようとしている。 列に並ぶ人の心理状況について自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 6 The Human Library 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，否定の分詞構文，完了形の不定詞が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 本レッスンの本文の英文を聞いて，大まかな概要を把握できる。否定の分詞構文，完了形の不定詞を的確に把握し，本文の内容を正確に理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒューマンライブラリーについて自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 6 The Human Library 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，否定の分詞構文，完了形の不定詞が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 本レッスンの本文の英文を聞いて，大まかな概要を把握できる。否定の分詞構文，完了形の不定詞を的確に把握し，本文の内容を正確に理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒューマンライブラリーについて自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査		○				○		○	○		1
	Lesson 7 More Than Just Shelters 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，本文中の部分否定，If S’ were to V’，S would V ～が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。また，本文から学んだ「避難所の環境を改善するために坂茂が用いる紙を使った建築の利点」について自分なりに意見を持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害での被災者の悩みや，それ	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 7 More Than Just Shelters 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，本文中の部分否定，If S’ were to V’，S would V ～が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。また，本文から学んだ「避難所の環境を改善するために坂茂が用いる紙を使った建築の利点」について自分なりに意見を持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害での被災者の悩みや，それを理解し改善しようとする坂の取り組みを理解しようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 8 Infectious Diseases and Humans 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，本文中の付帯状況のwith，受け身の分詞構文が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 細菌とウイルスの違いや，ウイルスに対する治療法，ワクチンの開発や免疫の働き，ウイルスと共存してきた人類の歴史や今後のウイルスとの闘いについて理解できる。 理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。また，本文から学んだウイルス対策について自分なりに意見を持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 伝染病との闘いがどのようなものか，その闘いの対策について自分な	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 8 Infectious Diseases and Humans 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，本文中の付帯状況のwith，受け身の分詞構文が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 細菌とウイルスの違いや，ウイルスに対する治療法，ワクチンの開発や免疫の働き，ウイルスと共存してきた人類の歴史や今後のウイルスとの闘いについて理解できる。理解した内容を自分の言葉で表現し，相手に伝えることができる。また，本文から学んだウイルス対策について自分なりに意見を持ち，それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 伝染病との闘いがどのようなものか，その闘いの対策について自分なりに意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査		○				○		○	○		1
3学期	Lesson 9 Fashion for Pride 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，倒置，完了形の分詞構文が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 本レッスンの本文の英文を聞いて，大まかな概要を把握できる。時制を的確に把握し，時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 サプールについて自ら理解しようとしている。サプールについて自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 9 Fashion for Pride 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，倒置，完了形の分詞構文が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 本レッスンの本文の英文を聞いて，大まかな概要を把握できる。時制を的確に把握し，時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 サプールについて自ら理解しようとしている。サプールについて自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	Lesson 10 Larry Page and the Dream of Google 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，複合関係代名詞，二重否定が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 本レッスンの本文の英文を聞いて，大まかな概要を把握できる。複合関係代名詞，二重否定を的確に把握し，本文の内容を正確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 グーグル誕生について自ら理解しようとしている。グーグル誕生について自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	○	Lesson 10 Larry Page and the Dream of Google 【知識及び技能】 教科書本文を読んで，複合関係代名詞，二重否定が使われた英文の意味を把握する技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 本レッスンの本文の英文を聞いて，大まかな概要を把握できる。複合関係代名詞，二重否定を的確に把握し，本文の内容を正確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 グーグル誕生について自ら理解しようとしている。グーグル誕生について自分の意見を持ち，積極的に発信しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査		○				○		○	○		1

年間授業計画 新様式例

保谷　高等学校 令和6年度（2学年用） 教科　外国語　科目 論理・表現Ⅱ

教　科：　外国語　　科　目：　論理・表現Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（ Vision Quest English Logic and ExpressionⅡ　Hope　）

教科　外国語　の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力，判断力，表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力，人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　論理・表現Ⅱ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解できるようにする。 目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けるようにする。	目的や場面，状況に応じて，自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，詳しく話したり書いたりして伝え合う力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手・読み手など他者に配慮しながら，主体的・自律的に表現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話[やり取り]	話[発表]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Lesson1 What is your future goal? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，適切な主語を用いた構造を理解する。 技能 自分自身の状況，展望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，展望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，展望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話し	話題 将来の目標：子供の理想の仕事について書かれた文章を読んで，適切な主語の使い方を理解する。 言語 適切な主語を用いる：主語の選択や主語になる名詞句，形式主語の概念を理解し，適切な文を組み立てる。 表現 目標と達成[書くこと]：自分の目標と達成のために必要なことについて，文と文のつながりを意識して書いて伝える。 論理 文と文をつなぐ：様々な「つなぎの言葉」の用法を理解し，論理構成が分かりやすく，まとまりのある文章を書く。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，適切な主語を用いた構造を理解している。 技能 自分自身の状況，展望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，展望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりしている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，展望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話して伝えようとしたりしている。	○	○	○	5
	Lesson2 What school events do you have? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，適切な動詞を用いた構造を理解する。 技能 自分自身の状況や要望を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちなどを論理の構成や展開を	話題 学校生活：学校で新しい友達を作る方法について書かれた文書を読んで，適切な動詞の使い分けについて理解する。 言語 適切な動詞を用いる：自動詞と他動詞を使い分けたり，群動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。 表現 好きな学校行事［書くこと］：留学生のために開催するイベントについて話し合った内容を英文で書いてまとめる。 論理 パラグラフ（パラグラフの基本構成／列挙・順序）：パラグラフの基本構成を学び，列挙・順序のパターンを用いた論理的な構成やつなぎの言葉を適切に用い	○	○	○		○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，適切な動詞を用いた構造を理解している。 技能 自分自身の状況や要望を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合っている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson3 Who is the best athlete? 【知識及び技能】 知識　情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，現在，過去，未来を表す表現や文の構造を理解する。 技能 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話	話題 スポーツ：スポーツの歴史について書かれた文章を読んで，時を表す表現の概念を理解する。 言語 時を表す：現在・過去・未来を表すために，適切な動詞の形や文の構造を用いる。 表現 好きなアスリートと実績[書くこと]：自分の好きなアスリートと実績について，パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 論理 パラグラフ（例示・追加）：例示・追加のパターンを用いた論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用いて，書いて伝える。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識　情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，現在，過去，未来を表す表現や文の構造を理解している。 技能 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりしている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話して伝えようとしたりしている。	○	○	○	5
	Lesson4 Is social media safe? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，義務・必要・推量を表す表現や文の構造を理解する。 技能 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構	話題 情報化時代：ソーシャルメディアの使用で気を付けるべき点について書かれた文章を読んで，様々な助動詞の概念と文の構造を理解する。 言語 義務・必要・推量を表す：義務・必要・推量を表すために，助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し，文を組み立てる。 表現 ソーシャルメディアの利点と欠点[書くこと]：高校生のソーシャルメディアの使用について，パラグラフの構成に意識して，自分の意見や主張を書いて伝える。 論理 パラグラフ（比較・対照）：比較・対照のパターンを用いた論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用いて，書いて伝える。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，義務・必要・推量を表す表現や文の構造を理解している。 技能 自分自身の状況，要望，意見，主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりしている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話して伝えようとしたりしている。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	Lesson5 How does overusing energy affect us? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えるために，情報を加える表現や文の構造（形容詞・分詞・前置詞句による修飾，不定詞による修飾（形容詞的用法））を理解する。 技能 情報，考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝える技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝える。 【学びに向かう力，人間性等】 論理の構成や展開を工夫して，話	話題 環境問題：エネルギーの使い過ぎについて書かれた文章を読んで，名詞を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 言語 情報を加える（1）：形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し，文を組み立てる。 表現 環境問題の原因と影響[書くこと]：環境問題の原因とその影響について情報を整理し，関心のある環境問題に対する意見や主張を話して伝える。 論理 パラグラフ（原因・理由・結果）：原因・理由・結果について述べる論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用い	○	○		○	○	【知識及び技能】 知識 情報，考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝えるために，情報を加える表現や文の構造（形容詞・分詞・前置詞句による修飾，不定詞による修飾（形容詞的用法））を理解している。 技能 情報，考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝える技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝えている。 【学びに向かう力，人間性等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝えようとしている。	○	○	○	5
	Lesson6 What are some differences? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を加える表現や文の構造（関係代名詞，関係副詞）を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする。 【学びに向かう力，人間性等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話	話題 文化：異文化理解の重要性について書かれた文章を読んで，関係詞によって情報が追加された文の構造を理解する。 言語 情報を加える（2）：関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し，文を組み立てる。 表現 訪れたい国と文化[書くこと]：外国人観光客が最も訪れる日本の場所について，情報を調べてまとめ，出典や引用を示して，自身の主張や理由の根拠を詳しく書いて伝える。 論理 主張や理由の根拠を示す：主張や理由の根拠となる情報を示し，資料や他者の言葉の引用や出典を表す表現を適切に用いて，書いて伝える。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を加える表現や文の構造（関係代名詞，関係副詞）を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりしている。 【学びに向かう力，人間性等】 論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話して伝えようとしたりしている。	○	○	○	5
	Lesson7 Do all Japanese people need to speak English? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を加える表現や文の構造（不定詞（副詞的用法），副詞・副詞句・副詞節・分詞構文）を理解する。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，	話題 言語教育：第二か国語や外国語としての英語について書かれた文章を読んで，語句や文を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 言語 情報を加える(1)：形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し，文を組み立てる。 表現 第二公用語としての英語[書くこと]：日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで，文章全体の概要と構成を理解し，まとめる。 論理 リーディングの要約：精読と多読の２つの読解方法について書かれた記事を読んで，文章全体の構成と要点・要約をまとめる手順を理解する。	○	○		○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を加える表現や文の構造（不定詞（副詞的用法），副詞・副詞句・副詞節・分詞構文）を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合っている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分自身の状況，要望，情報，考え，気持ちを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson8 Is Japan open enough? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を伝える表現や文の構造（直接話法と間接話法，さまざまな伝達表現，～と言われている）を理解する。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構	話題 社会：日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで，直接話法と間接話法を用いて表した文の構造を理解する。 言語 情報を伝える：相手に情報を伝えるために，直接話法，間接話法，また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てる。 表現 日本の社会[話すこと（やり取り）]：2つの異なる働き方についての話を聞いて，全体の概要と構成を理解し，まとめる。また，自分が働きたい職場環境について，ペアやグループで議論する。 論理 リスニングの要約：日本の教育制度の目標について話されるプレゼンテーションを聞いて，文	○	○	○		○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を伝える表現や文の構造（直接話法と間接話法，さまざまな伝達表現，～と言われている）を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合っている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	Lesson9 What if you were rich? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を伝える表現や文の構造（直説法，仮定法，その他の仮定）を理解する。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見，主張，助言を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見，主張，助言を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え	話題 願望：もし億万長者になったら，何をするかについて書かれた文章を読んで，仮定の概念と文の構造を理解する。 言語 条件と仮定を表す：条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し，文を組み立てる。 表現 想像上の状況[書くこと]：宝くじが当たり，大金を手にしたらという仮定の状況を想定し，自分の考えや主張をまとめたり，クラスメートと話して伝え合ったりして，スピーチの原稿を作成する。 論理 スピーチ[話すこと（発表）]：スピーチの構成や伝え方を意識して，自分の考えや主張を話して伝える。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を伝える表現や文の構造（直説法，仮定法，その他の仮定）を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見，主張，助言を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりしている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見，主張，助言を論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話して伝えようとしたりしている。	○	○	○	6
	Lesson10 How might AI affect our lives? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を伝える表現や文の構造（可算名詞・不可算名詞，数量を表す表現，割合・数量の変化）を理解する。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく書いて伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりする。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構	話題 科学技術：AIと共存する方法について書かれた文章を読んで，数量を表す表現の概念と文の構造を理解する。 言語 数量を表す：可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現，割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し，文を組み立てる。 表現 AIと共に働くこと[書くこと]：AIとの生活で大切な事について，自分の考えやその根拠を示す情報を調べるなどして，クラスに話して伝えるために，プレゼンテーションの原稿を作成する。 論理 プレゼンテーション[話すこと（発表）]：プレゼンテーションの構成や伝え方を意識して，資料やデータなどの資料を提示しながら，自分の考えや主張を話して	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，情報を伝える表現や文の構造（可算名詞・不可算名詞，数量を表す表現，割合・数量の変化）を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく書いて伝えたりする技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく話して伝えたりしている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしたり，詳しく話して伝えようとしたりしている。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
3学期	Lesson11 What is a healthy life? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，比較を用いた表現や文の構造を理解する。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構	話題 健康：健康とストレスについて書かれた文章を読んで，比較を表す表現を用いた文の構造を理解する。 言語 比較を表す：原級比較，比較級，最上級を表す表現や文の構造を理解し，文を組み立てる。 表現 睡眠時間の賛否[書くこと]：「10代の若者は8～9時間の睡眠が必要だ」という議題について，賛否の意見を考え，詳しく書いてまとめる。 論理 ディベート[話すこと（やり取り）]：ディベートのルールや手順，構成を理解して，チームと協力しながら，自分の役割に応じ	○	○	○		○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，比較を用いた表現や文の構造を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合っている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	Lesson12 What is important when we sell chocolate? 【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，否定を表す表現や文の構造を理解する。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく書いて伝えたりする技能を身に付ける。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合う。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構	話題 ビジネス：商品の販売について書かれた文章を読んで，否定を表す表現を用いた文の構造を理解する。 言語 否定を表す：否定を含む語や部分否定，準否定などの否定を表す表現や文の構造を理解し，文を組み立てる。 表現 チョコレートを販売する上で重要なこと[話すこと（やり取り）]：チョコレートの売り上げを伸ばすために需要なことについて，自分の意見や主張を考え，根拠となる資料を示しながら，グループで話して伝え合う。 論理 ディスカッション[話すこと（やり取り）]：ディスカッションのテーマについて，自分の考え	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 知識 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝え合うために，否定を表す表現や文の構造を理解している。 技能 情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合ったり，詳しく書いて伝えたりする技能を身に付けている。 【思考力，判断力，表現力等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合っている。 【学びに向かう力，人間性等】 自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して，話して伝え合おうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○			○		○	○		1
												合計 70

年間授業計画　新様式例

保谷　高等学校 令和6年度（2学年用）　教科　家庭　　科目　家庭基礎

教　科：　家庭　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（ 家庭基礎　気づく力　築く未来　　）

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技術を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活に創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習に意義や内容、情報収集、発表の仕方など学習の方法、評価の方法を理解する。	・家庭科を学ぶにあたって					1
	A 単元：私たちの食生活 【知識及び技能】 ・現代の食生活の課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食生活の課題を発見し、課題解決のために考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努める。	・食事調査を通して各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。	【知識・技能】 ・食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて、現代の食生活の課題が理解できる。 【思考・判断・表現】 ・自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の食生活について関心を持つとともに、自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	○	○	○	4
	B 単元：栄養と食品のかかわり 【知識及び技能】 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。	・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食生活について考える。	【知識・技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点を持って知識を深めようとしている	○		○	5
	C 単元：食品の選び方と安全 【知識及び技能】 食中毒に対する予防法を理解する。	・食中毒に対する予防法を理解する。 ・視聴覚教材「食中毒を防ごう」	【知識・技能】 ・食中毒の種類や予防法をとらえることで、安全な食品や調理について理解している。	○			2
	D 単元：食事の調理 【知識及び技能】 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・調理実習において、作業の流れを判断しながら取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・調理実習において、班員と協力して取り組む。	・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。	【知識・技能】 ・調理実習を通して、日常の食事作りに必要な調理技術を身につけ、実践できる。 【思考・判断・表現】 ・食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、実際の食事作りに向けての判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調理実習においては、積極的に参加し、取り組もうとしている。	○	○	○	6
	E 単元：これからの食生活を考える 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の食料自給率を解決するためにできることを見つける。	・日本の食料自給率の現状と課題について考える。	【思考・判断・表現】 ・現在の日本の食生活についての課題を理解し、解決の方法について考えをまとめることができる。		○		1
	定期考査			○	○		1
2学期	A 単元：共に生きる家族 【知識及び技能】 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族が抱える問題を踏まえ、家族を支える仕組みについて具体的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・話し合いを通して互いを理解し合う。	・「家族」の条件とは何かを考える。 ・グループで家族の条件や結婚について話し合いをする。	【知識・技能】 ・結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・現在の家族・家庭の在り方や役割について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚、家族・家庭の形、役割について、自分とどのようにかかわっているのか興味・関心を持とうとしている。	○	○	○	4
	B 単元：家族に関する法律 【知識及び技能】 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族・家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解する。	・家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ・選択的夫婦別姓制度についてグループで話し合う。	【知識・技能】 ・家族に関する法律についての知識を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族・家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。	○		○	2
	C 単元：子どもとは 【学びに向かう力、人間性等】 ・育児を学ぶ意義について理解する。	・次世代を担う子どもを育て、育んでいくことの責任感を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの世界について、自分の子どものころを思い出しながら興味・関心を持ち、子どもの生活について積極的に子どもと関わりながら理解しようとする。			○	2
	D 単元：子どもの発達 【知識及び技能】 ・子どもの誕生、心身の発達と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもは親や身近な大人とのかかわりあいの中で発達していることを理解する。	・子どもの発達について考える。 ・子どものからだの成長の様子を学ぶ。	【知識・技能】 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・現在の子どもを取り巻く環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	○	○		2
	E 単元：子どもの生活 【知識及び技能】 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて学び、子どもに興味・関心を持つ。	・子どもの頃を振り返るとともに、食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもと関われるようにする。	【知識・技能】 ・子どもとの接し方、子どもの衣食住に関わる物づくりなどの技術を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どものためのおもちゃ作りや、絵本の読み聞かせなどの実践活動に積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持とうとしている。	○		○	4
	F 単元：子どもをはぐくむ 【知識及び技能】 ・子どもを生み、育てる意義について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・親子関係に関する新聞記事などを読み、現代の親子にかかわる課題と解決の方向性を探る。	【知識・技能】 ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもを取り巻く状況について、現状を知り、解決に向けて考えようとしている。	○		○	2
	定期考査			○	○		1
3学期	A 単元：衣服の選択と管理まで 【知識及び技能】 ・衣服や小物の製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基礎縫いを学び実践することで、物づくりに興味・関心を持つことができる。	・手縫いでペンケースを製作する。	【知識・技能】 ・基礎縫いなどの縫製技術を身につけ、日常着などの管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ペンケース製作に積極的に取り組もうとする。	○		○	4
	B 単元：衣服の選択と管理まで 【知識及び技能】 ・衣服表示の種類と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができる。	・衣服の適切な洗濯方法から保管などについて学び、自らの生活で実践する。	【知識・技能】 ・衣服材料の性能と特徴、衣服整理の科学的な知識を身につけることによって、衣服を適切に選択し、管理することができる。 【思考・判断・表現】 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ、実生活の衣服管理において、適切な判断ができる。	○	○		2
	C 単元：消費行動と意思決定 【知識及び技能】 ・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	・主体的な消費行動について、多角的に考える。	【知識・技能】 ・消費行動について、様々な情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】 ・消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。	○	○		2
	D 単元：消費生活の現状と課題 【知識及び技能】 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・契約、多様な販売方法や支払い方法、問題方法の被害にあった場合の解決方向を理解する。	・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法の被害を未然に防止し、早期解決する方法を考える。	【知識・技能】 ・消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。	○	○		2
	定期考査			○	○		1
						合計	48